

# ニンジン

## ニンジンの種蒔きは、適期を守り、覆土は薄めに

ニンジンの種蒔きの一番適期は、梅雨上がりの畑が湿っている頃、平年なら7月中旬頃です。畑が乾きすぎていたら、面倒でも灌水（水かけ）して蒔くようにしましょう。

【方法】ニンジン揃ってよく発芽させることは、案外難しいのですが、その第一原因は、この畑の水分状態であり、もう1つの大切な事は覆土の厚さです。

厚すぎると発芽不良や不揃いになりやすい性質を持っていますので、1～1.5 cmぐらいの、覆土としては少なめにするこ

とす。そのためには、まき溝を作るとき丁寧に、クワを何回も細かく前後に動かして、土を細かくしながら溝の底面がきれいな表面になるよう作っておきます。

溝を作った後、ジョロで、図のように溝幅に合わせて若干灌水すると、溝底はきれいに平になります。

こうして種蒔きすると、種の位置が一定となるので、覆土の厚さも一定にしやすくなります。

覆土した後、その上をクワの背中で軽く押さえ鎮圧し、土と種子のなじみを良くしておきます。

そして、その上に、完熟堆肥を細かく砕いてボロボロになったものをまいておきます。これは乾燥期や雨でたたかれるのを防ぎ、発芽の初期育苗の促進に大きく役立ちます。



ハスロを下に向け、覆土する土は濡らさないこと。



種子は2～3 cm間隔にまんべんなく蒔く。



完熟堆肥を細かく砕いたものなどをばらまく。



1～1.5 cmの厚さに覆土してから、クワの背で軽く鎮圧する。

## 【特徴】

にんじんは、冷涼な気候を好み耐寒性は強いが暑さには弱いため、収穫期が秋から冬にかかる夏まきが栽培しやすい。

春まきも可能であるが品種な選定や種まきの時期に注意する。

現在、栽培されているにんじんの多くは短根種と呼ばれるものであるが、金時にんじんのよう

な長根種を栽培している地域もある。

## 【作型と品種】

作型	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	主な品種
春まき				○	—	—	—	□						向陽二号、いなり五寸 あすべに五号ベーターリッチ
夏まき								○	—	—	—	□		向陽二号、陽明五寸、夏蒔く鮮紅五寸 黒田五寸、ベーターリッチ

その他：国分鮮紅大長、金時、三寸

ミニにんじん（長形）ピッコロ、ペンシルキャロット、ベビーキャロット等  
（丸形）メヌエット、ハードボール等